

地球環境の持続性

金融の役割を通じて「経済・環境・社会の好循環」を確立し、自然と共生する循環型社会を創造します。

当行の重点取組項目

気候変動への対応



脱炭素・省エネ



琵琶湖の水質保全



生物多様性保全



環境金融

「お金の流れで地球環境を守る」との気概で、本業による環境保全の取り組みを実施。

P.09-10

環境経営サイクル

エコオフィスづくり

銀行内の省資源・省エネルギー活動を推進。

P.08

環境ボランティア活動

地域の環境ボランティア活動に積極的に参加することで、環境意識の高い人材を育成。

P.12

環境方針 (抜粋)

- ① 省資源・省エネルギー活動
- ② 金融サービスを通じた環境保全
- ③ 環境関連法規等の順守
- ④ 全員参加と啓発
- ⑤ 環境方針の公開

生物多様性保全方針 (抜粋)

- ① 役職員自らが生物多様性保全の活動を展開
- ② 地域の皆さまとの連携によるネットワークづくり
- ③ 環境対応型金融商品・サービスの充実

エコオフィスづくり

「滋賀銀行 環境方針」のもと、営業活動に伴う電力や紙使用量の削減、グリーン購入・リサイクル・エコスタイル・エコ店舗など、省エネ・省資源活動に努めています。

節電対策

前年度比
(電力使用量)



「しがぎんエコスタイル」(夏季5月～10月、冬季12月～3月)の実施や空調管理、営業室・共有部分の照明の間引き、OA機器の節電、早帰りの励行を実施。

グリーン購入

製品やサービスを購入する際に、必要性・環境を考慮して購入。



環境対応車への切替

環境負荷低減の取り組みとして、順次切り替えを実施。



行内リサイクルシステム



行内の機密書類等を全店から集めて破砕処理し、再生紙工場にてトイレットペーパーに再生。

カーボンニュートラル店舗でCO₂排出量 実質 0

- 太陽光発電電量
- 照明電力量
- 屋外電気使用量
- 営業車CO₂排出量
- 空調換気電力量
- コンセント電気使用量



エコ通勤の促進

2011年よりエコ通勤優良事業所の認証を取得。



バイオディーゼル車導入

地域内資源循環の取り組みを促進。



※ 2018年度の実績を記載しています。

環境会計 ～環境と経済の両立に向けて～

当行は、環境保全への取り組みを効率的かつ効果的に推進しています。そして、事業活動における環境保全のためのコストと、その活動により得られる保全・経済効果を公表しています。

WEBでチェック <https://www.shigagin.com/csr/report/>

TOPIX

通帳は紙からスマホへ!

2019年3月、当行と初めてお取引引きいただく個人のお客さま向けに、スマートフォンで普通預金口座の開設申込ができる「滋賀銀行アプリ」の取り扱いを開始しました。そのほか、預金口座の入出金明細や残高情報などをアプリを通じてご確認いただける「滋賀銀行デジタル通帳」の取り扱いも開始。FinTechを活用した新たなサービスの提供により、お客さまの利便性向上および省資源化に努めてまいります。



ISO 14001 × SDGs

ISOで目指す 環境保全・経営向上

2000年に認証を取得してから19年間、当行独自の環境マネジメントシステムを運用しています。毎年、一般財団法人日本品質保証機構(JQA)による審査を受けており、2016年度には新規格:2015年改訂版への対応を行いました。本年度のISOの取り組みでは、サステナビリティビジョン(長期ビジョン)の実現に向けた取り組みを環境目標に設定。ISOで経営計画のPDCAを回し、環境保全の取り組みを業務効率化・生産性向上につなげてまいります。

